

## 博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名（生年月日） 島川 龍載 （\*\*\*\*年\*\*月\*\*日）

本籍（外国人の場合国籍） （都道府県） \*\*\*\*

学位（専攻分野） 博士（医療情報学）

学位授与番号 甲第 178 号

学位授与日付 令和4年3月21日

学位授与の要件 学位規程第3条第3項該当

論文題目

地域ヘルスケア情報の非対称性の解消に向けたPHRサービスの公的アカウントビリティに関する研究-健康管理モデルを活用した行動変容アプローチの検証-

審査委員会

主査 阿南 誠 副査 秋山 祐治 副査 渡邊 佳代

## 博士論文内容の要旨

本論文は情報化社会にあって、国民の一生涯の健康データをデータベース化し利活用するPHR(Personal Health Record)という分野の課題に取り組んだものである。現時点でのPHRの課題をEHR等と対比すると共に、現状における課題や将来に向けての導入すべき施策等を的確に検証、指摘、提案している。また、当該執筆者において、その内容については研究の進捗に合わせて既に関連学会において、7本以上の発表と論文投稿がなされており、本論文執筆の過程における研究成果を十分に発揮している。内容は正に現在、医療情報分野において、世界中で注目されている課題ということもあり、現状分析と共に未来に向けた提案等、新規性も兼ね備えた論文である。

## 博士論文審査結果の要旨

当該論文については、中間報告会にて、審査委員会教員他の教員からその内容について、多くの指摘があり、十分な回答をしていたところである。さらに、今般、最終審査にあたり、論文内容については指摘事項を踏まえて適正に修正され、さらにブラッシュアップされていたことを確認した。今回、その修正後の論文内容について改めて口頭試問を行ったところである。審査内容については、審査委員からの30分程の質疑応答と20分程の英語能力についての口頭試問とした。英語能力試験については当該論文分野に関する英語論文をサンプルとして、15分間の黙読時間を与え、その内容について、質疑応答を実施して確認を行った。その結果、研究論文における専門分野の内容について、また、英語能力についても十分に対応も出来ており、本学の基準に照らして合格とした。